

学生の皆さんへ

英語論文・抄録執筆、発表スライド作成などのアドバイスについて

国際交流室で木曜日午後にやっている英語論文執筆アドバイスは、最終的に、学生の皆さん一人一人が、英語の論文や抄録の執筆、発表スライドの作成などを、ご自分で、十分なレベルでできるよう、基本的な力をつけてもらうことを大きな目的としています。

私が国際交流室で英文アドバイスを始めてから2カ月、皆さんとの楽しい時間を通して、そのための手順が前よりも少しははっきりしましたので、ご案内します。

できるだけ、次のような2段階でアドバイスを進められればと思っています。

第一段階 重点的改善ポイントの検討

皆さんが書いた論文や抄録、発表スライドなどを、すぐに私が校正するのではなく、最も重要な改善点を診断して一緒に明らかにし、その診断に基づいて、皆さん自身に修正していただきます。

第二段階 目標となるクオリティの観点からの検討

第一段階を受けて、皆さんがそれぞれに修正してメールで私に送っていただいたものをもとに、今度は、論文や抄録、発表として、十分なクオリティを達成する観点から、私が校正を行います。校正とともに、必要に応じてポイントを説明・確認するためのコメントを原稿に入れます。修正された原稿を皆さんにメールで返すか、印刷物を直接渡します。

こうすることで、各自が弱いところを把握し、それを克服して、十分なレベルの論文や抄録、発表を作るためにはどうすればよいかの意識を促し、力を付けていくことができます。

もちろん、原稿締切が急だったり、色々な要因から、十分に早い時期から第一段階、第二段階のスケジュールを組むことができないこともあるでしょう。

そんな場合でも、もちろん（予約に余裕がある限り）締切りの緊急度に応じてできるだけのアドバイスをしますから、ご心配なくご相談下さい。

でも、できるだけ、相談の際、この二段階を踏めるよう、早めにスケジュールを予定していただければと思います。きっと皆さんのためにもなるはずです。

なお、予約を取るときに、以下のことを明記するようお願いいたします。

- ・原稿の種類（論文、抄録、発表原稿・スライドなど）
- ・原稿の長さ（英語で何ワードくらい）
- ・提出する締め切り・発表する日付
- ・提出するジャーナル・発表する会議により、執筆形式（例えば、APA形式）が指定されているかどうか
- ・対応する日本語の原稿があるかどうか

原稿をすでに書き上げている場合、メールに添付するようお願いいたします。もともと日本語で書かれたものを英語にしたものである場合、日本語版も一緒に送ってください。

これからもよろしくお願ひします。